

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	「工務店学校」四国・温熱環境研究会				
H30採択グループ番号	07	—	0129	—	0671

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	30年度の取組みとして力を入れたのは温熱的に快適な住宅をいかに地域の皆様に提供できるかについてです。HEAT20の基準を参考に、いかに冬場の温かさを追求できるかをG1及びG2グレードの建物の実際の住み心地をお伺いし今後の建物に活かしていくかを検討しました。またそれ以上の性能の家を建てられている他グループのお家にも見学に行き参考にさせていただく事ができました。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/06/05	名称	平成30年度第一回工務店学校四国			
	内容	30年度のグリーン化事業に参加する旨紹介 南雄三先生を講師としてお呼びし、建物の資産価値について講習を受ける。							
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称				
	内容								
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/10/11	名称	平成30年度第二回工務店学校四国	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有							
	内容	長期優良住宅の認定取得のための方法の説明							
取組み②	サポートの有無 2								
	内容								
取組み③	サポートの有無 3								
	内容								

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	130	発行予定	
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	一般社団法人JBN 「いえもり・かて」	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有							
内容	施主様の意向を確認の上、メンバーの中からサポートを検討する。							
② H30年度における施工構成員の廃業	無							
対応内容								

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有							
内容	自立循環型住宅 改修版の研修会をIBECの協賛の上開催。 建築研究所から三浦尚志先生、住宅評論家 南雄三先生をお呼びし住宅の省エネ(改修)について講習を受ける。							
省エネ化に対する取組 ②								
内容								
BELS工務店の登録数	3 社							

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	「工務店学校」四国・温熱環境研究会				
H30採択グループ番号	07	—	0129	—	0671

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/04/23	名称	平成31年度第一回工務店学校四国		
	内容	31年度のグリーン化事業参加の旨報告。それと、断熱改修をする上で、壊してみてもわかるシロアリの被害や柱等の腐れなど、そういった想定外な事例になった場合にどのように対処すればいいのか、また改修後に同じようなことが起こらないようにするにはどうしたらいいのかなどインスペクションのレベルを上げるための勉強会をあわせてする。						
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/06/28	名称	令和元年第二回工務店学校四国	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	長期優良住宅認定取得、BELS認定取得のためのサポートを事務局中心に行う。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	一般社団法人JBN 「いえもり・かるて」
------------	----------	-----	----------------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	施主様の意向を確認の上、メンバーの中からサポートを検討する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	住宅の省エネルギー化に向けた勉強会は過去に自立循環型住宅の取り組みを中心に行っているので実践してきた住宅の検証をすることはもちろん、省エネ化に伴う高断熱化において起こる弊害、内部結露等の仕組み対策等専門家をお呼びし勉強する。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	昨年度、IBECさんの協賛の元、自立循環型住宅の認定講習を開いたので実践した物件の検証を行う予定としている。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日			
内容					
研修計画 ②		実施日			
内容					

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	「工務店学校」四国・温熱環境研究会				
H30採択グループ番号	07	—	0129	—	0671

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>「知恵で省エネ・エコ」を合言葉に断熱・気密共に高レベルで健康に配慮した住宅を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全棟一次エネルギー評価(28年度基準)の実践と提出 ・計画換気の安定、冷暖房費の削減を目指すために気密測定と風量測定の実施(C値2.0cm²/m²以下) ・長寿命においては開口部(窓)の性能を熱貫流率2.91W/m²・K以下とし、高度省エネ型においては平均2.33W/m²・K以下とする。 ・内部結露の危険回避、気密性能の安定を図るため外張り工法を採用する事とする。 	●
----	---	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	<ul style="list-style-type: none"> ・主要構造材の地域材の使用を60%以上とする。 ・羽柄材(大引き、筋交い、間柱、根太)の四国産材の割合を100%とする。 ・外張り工法により有効利用できる外気に面した壁に地域材を利用した棚等を作成する。 		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有			
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・遮熱面材付の硬質ウレタンボードを使用し、夏場の暑さ対策とする。 ・使用する建材の共同購入により断熱メーカー、開口部メーカー及び換気メーカーとの信頼関係は築け、大口契約によりここ最近の資材高騰の対策に効果がありました。今後上記メーカーのみならず他の部材等も事務局を中心に価格の交渉を進めていく。 	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	無	
内容		
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ性能は28年度基準以上の外張り工法を標準仕様とする。 ・HEAT20のG1グレード以上を推奨 ・断熱工法の仕様統一により各現場の工夫等を集約し、さらなる施工品質の向上と合理化をめざす。 ・省エネ、換気の効率を向上させることを目的に気密測定を必須とする。 	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命においては履歴情報の管理は、工務店、設計事務所、事務局で管理することとし、極力履歴管理会社に委託することを推奨する。 ・ほとんどの施工業者は何かしらの履歴情報管理システムに加入しているため必要な時には公開していただけるよう周知する。未加入の方々への履歴管理システムへの参加を促す。 	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・気密測定を必須とする。 ・換気の風量測定を必須とする。 	
⑦ 見積りに関する統一ルール	無	
内容		
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	基本的に各構成員の事業所では週休2日を採用しているが一部展示場を持っている事業者は交替人員不足の為隔週2日を採用している事業者がある。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	基本的に年2回～4回の工務店学校をベースに技能の向上を促す。
③ 社会保険への加入	有	内容	基本的に全事業者が加入している。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	年一回の安全パトロール、安全大会を開催することを提案している。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	「工務店学校」四国・温熱環境研究会				
H30採択グループ番号	07	—	0129	—	0671

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	無	内容	
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	無	内容	
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	地域の特産品、例えば庵治石、砥部焼、土佐和紙などをデザインの一部に取り入れることを必須としている

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	・陶器を洗面台などに加工する穴開けの技術者との交流など異業種間での新たな取組みを提案する。
② 地域の住まい方の継承	無	内容	
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	CASBEE評価の実施により街並み形成の意識を高めている

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	
	<p>昨年の7月豪雨の際、事務局を中心に水、タオルなどを災害地に配給しました。</p>
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	
	<p>災害後の仮設住宅の省力化検討、ストックの簡略化の検討、建材メーカーに資材不足の際の供給の約束などを行っている。</p>